



## Science & Global vol.13

本校は、平成 25 年 4 月に平成 25 年度～29 年度文部科学省スーパーサイエンスハイスクール (SSH)として指定されました。科学的リテラシーを備え、国際社会で活躍するリーダーを育てるプログラムの研究開発を実施しています。地域や大学と連携した探究活動や、先端科学研修など、今年度は活動 3 年目になります。また、一昨年 4 月には平成 26 年度～30 年度文部科学省スーパーグローバルハイスクール (SGH) としても指定を受けました。SSH の取り組みに加え、生徒の国際的な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等国際的素養を育て、将来、地域・社会の核となるグローバル・リーダーを育成するための教育プログラムの研究開発に取り組みます。

### ★国際交流についての座談会「ENGLISH LUNCH」第 1 回を行いました★

今年度から本校で海外交流アドバイザを務める吉野愛さんと、海外での生活や国際交流について、ランチを食べながら英語で楽しく語り合う「English Lunch」をスタートさせました。

第 1 回目が行われた 5 月 19 日 (木) は、海外への留学や国際交流に関心を持つ生徒 10 名が集まり、教育実習生 2 名も加わって、英語で自己紹介することから始めました。

各自がお弁当を持ち寄り、吉野さんのこれまでの海外での数々の体験談に、興味深そうに耳を傾けていました。

今後、週 1 回程度のペースで、その都度参加者を募って行う予定です。一人でも多くの生徒が、海外に目を向け、英語コミュニケーションへの関心を高めてほしいと思います。



### ★国際交流員を招いて課題研究成果を英語で発表するための準備を始めました★

5 月 24 日 (火)、出雲市の国際交流員 2 名を招いて、本校 3 年生が課題研究成果を英語で発表するための準備活動を行いました。

本校 3 年生は、今年の 7 月 25 日 (月)・26 日 (火) に島根大学を会場に行う「グローバル・セッション」に参加し、島根大学留学生等に課題研究成果を英語で発表し、ディスカッションする活動を行います。

この活動を行う生徒は、昨年度、国際・文化をテーマに課題研究を行ってきた 3 年生 62 名 (12 グループ) です。昨年度行った研究テーマは「日本人はどうすれば英語が話せるようになるのか」「なぜ日本庭園は海外に広く取り入れられているのか」など多彩で、この内容をどのように外国人に分かりやすく発表するのか、それぞれのグループの創意工夫は試されます。

この日は、その準備活動の 2 回目で、英語による発表のための企画書の作成に取り組みました。出雲市からアレキサンダー・チェンさんとアンナカイサ・ハヴェリネンさんの 2 名をお招きし、時折、英語によりコミュニケーションを取りながら、熱心に企画を練りました。国際交流員の方と意見交換しながら、外国人により分かりやすく伝えるための表現方法などについて有意義な検討を行うことができました。

この活動は、7 月 25 日・26 日の本番までに今後 5 回行われ、出雲市の国際交流員の方をはじめ、島根県の国際交流員、島根県教育委員会の外国人指導助手を招いて行います。



## ★スカイプを利用した海外の高校生との意見交換会を行いました★

5月25日(水)、昨年度1月にサンタクララ(アメリカ合衆国)海外研修に出かけ、課題研究成果の発表や、現地の行政機関や企業等にフィールドワークを行った3年生16名が、スカイプを利用して、現地ウィルコックス高校の生徒と意見交換会を行いました。

今回は、昨年度9月から2回のペースで続けてきた意見交換会のまとめの回と位置づけ、これまでの交流活動を振り返り、良かったこと、自分自身が成長したことなどをお互いに述べ合いました。また、今回は現在本校で実習を行っている教育実習生10名も飛び入りで参加しました。昨年度の海外研修を通じて、友情を深め合った仲間という意識もあって、とても和やかな意見交換会となりました。

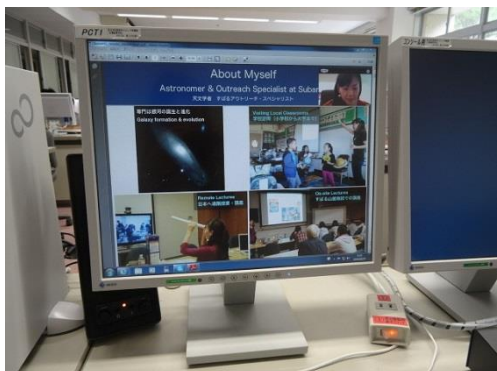
これからも個別の交流は続くと思いますが、公式の場で意見交換会を行うことはこれで最後となります。今後は、双方の学校で、それぞれこの交流活動を後輩に引き継ぎ、新たなメンバーでスタートを切ることになります。

このプログラムに参加した生徒にとっては、大変有意義で、生涯心に残る貴重な体験となりました。



## ★2年理数科 ハワイ観測所からの遠隔授業★

6月7日(火)、インターネットを使ったビデオ電話 Skype を介して、2年理数科生徒を対象に国立天文台 ハワイ観測所からの遠隔授業が行われました。天文学者であり、同観測所広報室のアウトリーチスペシャリストである嘉数悠子さんから、観測所のあるハワイ島マウナケア山頂の様子や、同観測所に設置されたすばる望遠鏡の最新技術や研究成果について、そして嘉数さんご自身が天文学者になり、国立天文台で働くようになった経緯などを、スライド資料と動画を交えながらお話し頂きました。当時13歳の嘉数さんが、雑誌ニュートンのNASAスペースキャンプに応募をしたことをきっかけに、英語も全く話せない状態で世界へ飛び込んだその行動力は、生徒たちの心にとっても印象強く残ったようです。授業を終えて、「遠いはずの宇宙がとても近くに感じられた」「知らないことを追求できる研究は魅力に溢れている」などと、天文学や研究職の道へも視野を広げる機会となりました。講義の中で英語も交えていただいたことも、とても良い刺激になり、今後行っていく英語での課題研究発表への意欲も増したようでした。



### 今後の予定

7月25日(月)・26日(火)

第3学年 地域・社会と関わりながら学びを深める活動

- ・キッズのためのスーパーサイエンス  
第2学年で行った課題研究の内容を、地域の小・中学生向けに展示・プレゼンテーションをします 於：出雲科学館
- ・地域創生に向けた高校生からの提案  
第2学年で行った課題研究の内容を、地域創生に向けた提言としてまとめ、出雲市職員向けにプレゼンテーションをします 於：出雲市役所
- ・第2学年で行った課題研究内容を振り返り、その成果を島根大学に在籍する留学生等に英語で発表し、意見交換を行います 於：島根大学

7月27日(水)

・SGパワーアップセミナー(1・2年希望者)

現在アメリカ、カナダの大学で学んでいる日本人の学生を招いて、海外大学への進学・留学をテーマにした講話及びワークショップを行います 於：出雲高校